

和歌山縣報

第百一號

大正二年七月二十四日

○縣令

○和歌山縣令第四十九號

明治三十七年九月縣令第七十號縣稅徵收細則中左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年七月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

第六條 納稅地ニ住所又ハ居所ヲ有セサル納稅義務者ニシテ縣稅ヲ附加スル國稅ノ爲ニ納稅管理人ヲ定メアルモノハ縣稅ノ納稅管理人ヲ申告スルヲ要セス其ノ國稅ノ納稅管理人ヲ以テ縣稅ノ納稅管理人ト看做ス

第八條ノ二 明治三十三年勅令第八十一號第七條ノ二ニ依リ徵收スヘキ延滞金ノ割合ハ稅金額百圓ニ付一日參錢トス

延滞金又ハ滯納處分費ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ收入命令者ニ於テ納付書ヲ交付シ稅金及督促手數料ト共ニ縣金庫ニ納付セシム

前項納付書ハ第七號書式ノ二ヲ準用ス
書式中第五號ヲ削ル

書式第七號ノ備考ニ左ノ二項ヲ加フ

一、延滞金ヲ徴收スヘキモノニ付テハ督促狀ニ左ノ一項ヲ加フヘシ

指定期限内ニ完納セザルトキハ税金額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル延滞金ヲ徴收スヘシ

一、指定期限ヲ過キ現金ヲ差出スモノアルトキハ縣金庫ニ於テ先ツ滞納者ヲシテ收入命令者ヨ

リ延滞金又ハ滞納處分費ニ對スル納付書ノ交付ヲ受ケシメ其ノ納付金ト共ニ之ヲ領收スヘシ

書式第七號督促狀ノ欄外ニ記載スヘキ注意事項中「税金」ノ下ニ「及督促手数料」ヲ加フ

書式第七號ノ二ノ備考ニ左ノ一項ヲ加フ

一、延滞金又ハ滞納處分費ノ納付書ニハ金額ノ下ヲ「延滞金」又ハ「滞納處分費」ト記載スルモノ

トス

○和歌山縣令第五十號

明治四十四年勅令第二百四十二號第二項ニ依リ市稅及町村稅ノ滞納アリタル場合ニ徴收スヘキ延

滞金ノ割合ハ税金額百圓ニ付一日參錢ト定ム

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年七月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

○訓 令

○和歌山縣訓令第三十三號

郡 役 所

市役所
町村役場
師範學校
市町村立小學校

今般小學校令第三十條ニ改正ヲ加ヘラレ小學校ノ校地校舍等ハ教育兵事產業衛生慈善等ノ爲特別ノ必要アルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受ケスシテ之ヲ使用シ得ルコトニ規定セラレ候處右ハ畢竟公益上諸般ノ目的ノ爲ニ小學校ノ校地校舍等ヲ使用スル場合ニ於ケル事務簡捷ノ旨趣ニ出テタルモノニシテ教育上ノ影響如何ヲ顧ミス何事ニモ之ヲ使用シ得ルコトヲ認メラレタルモノニ無之殊ニ政治宗教ニ關スル會合又ハ遊宴等ニ使用スルカ如キハ從前ノ通之ヲ禁止スルノ主意ナルヲ以テ克ク其ノ旨趣ノ存スル所ヲ體シ將來之カ爲ニ毫モ弊害ヲ惹起セサル様嚴重注意スヘシ

大正二年七月二十四日
和歌山縣知事 川村竹治

○告示

○和歌山縣告示第二百六十七號

修路團道路小破修工程左ノ通定ム

大正二年七月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

修路團道路小破修工程

第一條 縣費支辨ニ係ル道路ノ小破修工ヲ囑託セラレタル青年會、軍人會又ハ町村内ノ部落ヲ修路團ト稱ス

修路團ハ誠實ニ修工ニ從事シ本規程ニ違反セサル旨ノ誓約書ヲ作成シ所轄土木工區出張所ヲ經由シテ知事宛提出スヘシ

第二條 修路團ハ其ノ團員中ヨリ團長ヲ選定シ之ヲ管轄工區主任ニ届出ツヘシ

第三條 修路團ノ擔當スヘキ修工ノ概目左ノ如シ

一、路面ノ凹凸ヲ平坦ナラシムルコト

二、泥濘ヲ除去シ押堀又ハ低地ニ土砂ヲ敷込ムコト

三、路面ニ滯留スル雨水及悪水ヲ排除スルコト

四、橋梁、暗渠ノ小破修繕

五、雨水溝渠ノ破損修繕及浚深

六、路面ニ發生スル雜草及竹木類ノ除却

七、並木ノ生育ニ注意シ其ノ障害物ヲ除去スルコト

第四條 各工區出張所主任ハ其ノ管内修路團ノ擔當區域ヲ定メ之ヲ監督スヘシ

第五條 各工區出張所主任ハ修路團ノ擔當區域ノ境界ニ左ノ標柱ヲ建設スヘシ

從是(東西)白何市町村大字何々地内
(南北)至同上延長何里何町何間

何修路團受持

第六條 修路團長ハ毎月一回以上定日ニ團員ヲシテ修工ヲ爲サシメ其ノ他諸般ノ事務ヲ處理スヘシ

但シ五、六、八ノ月ニ於テハ特ニ急施ヲ要スル場合ヲ除キ修工ニ從事セシメサルコトヲ得

第七條 修路團長ハ毎月修路ヲ爲スヘキ定日ヲ豫メ當該道路擔當員ヲ經由シテ工區主任ニ報告ス

ヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第八條 修路團長ハ主務吏員巡視ノ際修工ヲ指示セラレタルトキハ指定ノ期間内ニ施工ヲ終了シ其ノ旨當該道路擔當員ヲ經由シテ工區主任ニ報告シ檢査ヲ受クヘシ

第九條 修工用ノ器具ハ私有物ヲ携帶スヘシ

第十條 修工ニ要スル土砂及其ノ他ノ材料ハ工區主任ニ於テ相當ト認メタル數量ヲ供給ス材料ニ殘餘ヲ生シタルトキハ工區主任ノ檢査ヲ受ケ團長之カ保管ノ責ニ任ス

第十一條 道路ノ狀態ニ依リ修路團ヲ二等ニ分チ一ケ年一里ニ對シ左ノ範圍ニ於テ手當ヲ給ス但シ里ニ滿タサルモノハ町數ニ依リテ計算シ間以下ハ切捨ツルモノトス

一 等(車道) 二十圓以上三十圓以下

二 等(不車道) 五圓以上十五圓以下

手當ハ六月及十二月ノ二回ニ交付ス但シ其ノ都度修路團長ヨリ請求書ヲ提出スヘシ

第十二條 一ケ年ヲ通シテ勞働ノ程度ト成績ト良否トヲ審査シ優良ト認メタル修路團ハ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第十三條 修路團ノ所爲ニシテ不都合ノ廉アリト認メタルトキハ囑託ヲ解キ手當ヲ給セサルコトアルヘシ

第十四條 知事ニ於テ必要ト認メタルトキハ修路團ニ對シ其ノ囑託ヲ解クコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル手當ハ其ノ解キタル月ノ前月迄月割ヲ以テ支給ス

附 則

第十五條 本規程ハ縣費支辨ニ係ル里道ニ限り之ヲ適用ス

第十六條 本規程ハ大正二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

○和歌山縣告示第二百六十八號

左記ノ通定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登錄ス

大正二年七月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

免許年月日	大正二年六月二十六日
免許番號	一一二四四
漁業種類及名稱	魚類類 鮎類 鱒類 鱒類 鱒類
漁場ノ位置	和歌山縣東牟婁郡 請川村字骨島ト同 郡同村本宮村字備 川筋 鱒トニ跨レル十津
漁獲物種類	鮎
漁業種類	自一月九日至十一月十三日
漁業權存續期間	五箇年
條件又ハ制限	一、木石類ヲ以テ河水ヲ 一、堰立ツヘカラス 一、舟筏通航上障害トナ 一、ラサル様設備スヘシ 一、河川流幅五分ノ一以 一、上ノ魚道ヲ開通スヘシ 一、漁期終了シタルトキ 一、ハ一週間以内ニ建設物 ヲ撤去スヘシ
漁業權者代表者	東牟婁郡本宮村 泉本忠三郎

○和歌山縣告示第二百六十九號

本縣那賀郡上岩出村ニ上岩出村新坂耕地整理組合設立ヲ認可セリ

大正二年七月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第二百七十號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

大正二年七月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

第八一二號

伊都郡河根村大字河根七十一番地
和歌山縣平民

西岡カツエ
明治二十六年六月生

○通牒照會

○通牒

○官第一、三三三號

大正二年七月二十四日

知事官房主事

郡市長殿

警察署長分署長殿

町村役場御中

明治天皇一周年祭日國旗ヲ掲揚スルトキハ大喪中ニ準シ喪章ヲ附シ可然旨其筋ヨリ通知アリタリ
右一般へ周知方取計相成度候

○勸第七八一七號

大正二年七月二十四日

内務部

郡役所

町村役場御中

東洋拓殖株式會社移住規則第三十八條ニ依リ町村長ニ於テ移住申込書ヲ受理シタル場合ハ所定ノ

證明書ヲ添付シ之ヲ所轄警察官署ニ提出スヘキ旨明治四十四年三月三十日內五第一三〇三號ノ一ヲ以テ郡市長へ及通牒置候處往々警察官署ヲ經由セス直接當廳へ提出ノ向有之取扱上差支不尠候條將來右手續遺漏ナキ様御取計相成度

○會第三六六五號一

大正二年七月二十四日

內務部長

郡市長殿

市村役場御中

明治四十年法律第三十四號ニ依リ朝鮮總督府所屬官署ヨリ内地官衙ニ對シ徵收處分ヲ囑託セラレタル場合ニ於テ其ノ受託ヲ拒絕セル向有之趣ヲ以テ右等ノ誤解ナキ様注意方其筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度候

○辭令

○大正二年七月十九日

(各通)

病蟲害驅除豫防督勵員ヲ命ス

大正二年縣立粉河中學校水泳教師ヲ囑託ス

手當貳拾圓ヲ給ス

警部 西岡庄五郎
警部 貴志得彌太
警部補 北脇富太郎

角谷 滋

依願免本官

○大正二年七月二十一日

東牟婁郡書記

小原純三

巡查

岩切正

巡查

小倉友太郎

巡查

寺田熊太郎

巡查

桑島重太郎

巡查

弘田孝一郎

(各通)

檢疫委員ヲ命ス

○大正二年七月二十二日

任東牟婁郡書記

給月俸拾貳圓

大下才市

○町村吏員ノ異動

○大正二年七月十九日認可

日高郡三尾村助役

中井清兵衛

○彙報

○行政

○町村事務研究会開催

七月二十一日那賀郡下神野村役場ニ於テ町村事務研究会ヲ開催ス

○恩賜濟生會和歌山市内救療狀況

(第一六九回)

救療月日及場所

大正二年七月十七日道場町海善寺

救療當務者

醫師竹中恒楠藥劑師加藤庄三郎看護婦鳥居フミ

患者數

舊患者男五女四名新患者男〇女〇計男五女四名

新患者病症別

(第一七〇回)

救療月日及場所

大正二年七月十九日道場町海善寺

救療當務者

醫師吉田彦一藥劑師川口丁次郎看護婦田伏せい

患者數

舊患者男四女三名新患者男〇女〇計男四女三名

新患者病症別

營養不給女一名

(第一七一回)

救療月日及場所

大正二年七月二十一日道場町海善寺

救療當務者

醫師吉田忠美藥劑師河島敬太郎看護婦岡本ます

患者數

舊患者男五女一名新患者男二女二計男七女三名

新患者病症別

枝胃加答兒男一名女一名潰瘍性口内炎男一名

○觀象

大正二年自七月十九日至七月廿一日氣象 (和歌山地方測候所觀測)

種目	七月十九日		七月二十日		七月廿一日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五八磅一	七五六磅五	七五九磅三	七五四磅六	七五九磅三	七五三磅〇
平均氣溫	二八度二	二六度一	二八度一	二五度一	二七度三	二六度八
最高氣溫	三一度五	二九度六	三一度五	二九度五	二九度九	二九度七
最低氣溫	二六度四	二三度八	二六度〇	二三度二	二五度〇	二四度四
最多風向	南々西	南西	南西	南西	南西	南西
平均風力	七米二	四米四	四米七	三米六	二米一	三米一
天氣	晴	晴	晴	晴后曇	中晴陰雨	中晴
降水量	〇	〇	〇	〇	一糎五	〇
記事雜象	午后九時四十九分 五十五秒微霽	晝間微雨ス午后一 時ヨリ四時迄南西 方ノ強風吹ク	〇	午后微雨ス	朝間雷雨夕刻微雨	〇

大正二年七月二十三日發行
大正二年七月二十四日發行
大正二年七月二十五日發行
大正二年七月二十六日發行
大正二年七月二十七日發行

和歌山縣報 第一一號

和歌山縣官房

和歌山在北休賀路六番角
印刷人 北水屋町六番角 七